

NETIS登録番号	技術名称	メンテナンス床版			
QS-110008-A	副題	横断歩道橋補修工			
分類1	道路維持修繕工	横断歩道橋補修工		キーワード: 公共工事の品質確保・向上	
分類2	道路維持修繕工	その他			
開発目標	耐久性の向上、品質の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号: _____) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社 ヤマウ		TEL	092-872-3351
	住所	福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7		E-MAIL	yamasaki@yamau.co.jp
	担当者	山崎正隆			
実績件数 H26.8.31現在	国土交通省		その他の公共機関	民間等	
	5件		9件	0件	

技術概要: (300字以内)

横断歩道橋の階段部(踊り場含む)及び横断部に使用する製品で、横断歩道橋の主桁両側面に梁支点アングルを溶接で取り付け、その上にプレキャストのレジン(高強度樹脂)コンクリート版をボルトで固定する工法です。
 従来技術は横断歩道橋の主桁両側面にL形鋼を溶接で取り付け、その上に合成樹脂ペイント塗装仕上げを施した鋼板をボルトで固定し、鋼板上面にノンスリップタイルを施す工法でした。
 この技術はある程度年数が経った横断歩道橋の更新に適用できます。また、新規の横断歩道橋にも適用できます。

「期待される効果」

高強度($\sigma_{ck}=90N/mm^2$)であるレジンコンクリート製品を用いて歩行部(階段部、踊り場、横断部)を補修します。従来技術である鋼製の場合、塗装の剥げやその後生じる錆びの問題がありメンテナンスが定期的に必要でしたが、レジンコンクリート製品にすることで塗装の必要がなく錆びも生じないので、メンテナンスフリーとなり耐久性に優れます。但し、横断歩道橋本体など鋼製部については定期的にメンテナンスが必要となります。

「適用条件」

- ①自然条件
雨天時には、レジンモルタル充填及びコーキング工の施工は避けます。
梁支点アングルへの溶接は雨天時には不可です。
- ②現場条件
作業スペース+仮置きスペース(6m²程度)が必要です。
- ③技術提供可能地域
全国。但し、九州地区以外は別途運賃となります。

「適用可能な範囲」

- ①老朽化した歩道橋・側道橋の維持・修繕、新築の歩道橋・側道橋
- ②歩道橋の幅は最大2.5mまで

「適用できない範囲」

歩道部幅が2.5mを超えるものや自転車乗入れ可能な歩道橋など

「写真・図等」

